

授業名	IT(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	泉原昭人
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	スタジオマンゴスチン主宰。短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。							
授業の学習 内容	Photoshop ,Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。							
到達目標	Photoshopの基礎技術を理解し、課題を制作することで様々な目的に応じた素材の編集、加工が行えるようになること。後期のIllustratoへの準備。							
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	＜デザインワークについて＞Photoshop ,Illustratorはどのように使用されているか、ポスターの制作過程から学ぶ		前回授業の復習			
2		演習	＜Photoshop＞ ・ドキュメント設定、レイヤー構造について		前回授業の復習			
3		演習	＜Photoshop＞ ・選択範囲1 切り抜きー合成		前回授業の復習			
4		演習	＜Photoshop＞ ・選択範囲2 変形ー加工1		前回授業の復習			
5		演習	＜Photoshop＞ ・選択範囲2 変形ー加工2		前回授業の復習			
6		演習	＜Photoshop＞ ・レイヤーマスク		前回授業の復習			
7		演習	・レイヤーマスク課題提出		前回授業の復習			
8		演習	・レイヤーマスク課題提出		前回授業の復習			
9		演習	＜Photoshop＞ ・色調補正		前回授業の復習			
10		演習	＜Photoshop＞ ・色調補正		前回授業の復習			
11		演習	＜Photoshop＞ ・色調補正		前回授業の復習			
12		演習	＜Photoshop＞ ・課題:フォトコラージュ		前回授業の復習			
13		演習	＜Photoshop＞ ・課題:フォトコラージュ		前回授業の復習			
14		演習	＜Photoshop＞ ・課題:フォトコラージュ		前回授業の復習			
15		演習	＜Photoshop＞ ・課題:フォトコラージュ		前回授業の復習			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	IT(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	泉原昭人
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	スタジオマンゴスチン主宰。短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。						
授業の学習内容	グラフィックソフトの中で最も汎用性が高く、様々な業界で使用されている、Photoshop、Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。						
到達目標	Photoshopの基礎技術を理解し、課題を制作することで様々な目的に応じた素材の編集、加工が行えるようになること。後期のIllustratoへの準備。						
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	<Illustrator>ツール機能 ブレンド(応用デザイン)	前回授業の復習			
2		演習	<Illustrator>ツール機能 アピアランス(線種について)	前回授業の復習			
3		演習	<Illustrator>ツール機能 テキスト入力	前回授業の復習			
4		演習	<Illustrator> 演習:地図を作成する(総合復習)	前回授業の復習			
5		演習	<photoshop+Illustratr> 解像度について 課題:ポストカード作成	前回授業の復習			
6		演習	<photoshop+Illustratr> 解像度について 課題:ポストカード作成	前回授業の復習			
7		演習	課題提出	前回授業の復習			
8		演習	<photoshop+Illustratr> 演習:映画祭ポスターの作成	前回授業の復習			
9		演習	<photoshop+Illustratr> 演習:映画祭ポスターの作成	前回授業の復習			
10		演習	<photoshop+Illustratr> 課題:オリジナルポスター制作	前回授業の復習			
11		演習	<photoshop+Illustratr> 課題:オリジナルポスター制作	前回授業の復習			
12		演習	プロフィールカードの作成・提出	前回授業の復習			
13		演習	プロフィールカードの作成・提出	前回授業の復習			
14		演習	プロフィールカードの作成・提出	前回授業の復習			
15		演習	プロフィールカードの作成・提出	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名		著作権(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	内藤 裕太
学科・専攻		映画制作科(昼間部二)		授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴		博報堂プロダクツやフリーランスの映像クリエイターを経てジョイン。人事領域も経験しながら、現在は新規コンテンツの企画・ディレクションを主に担う。							
授業の学習 内容		映像コンテンツの企画立案・予算・スケジュール・プレゼンテーション、プロデューサー、マーケティング、プロモーションと基礎知識を学びます							
到達目標		プロジェクトの完遂							
評価方法と基準		学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	イントロダクション ・自己紹介(講師) ・授業内容の説明 ・アンケート ・映画プレゼン大会 ・授業のテーマと目的 ・評価方法 ・プロデューサーとは？			前回授業の復習			
2		講義	プロデューサーの仕事に関して ・プロデューサーのワークフローツール			前回授業の復習			
3		講義	日本映画と映像業界について ・今後の日本映画と映像業界についてディスカッションする			前回授業の復習			
4		講義	日本と海外の映画祭について知る			前回授業の復習			
5		講義	XR(VR・AR・MR)の業界と体験			前回授業の復習			
6		講義	プロジェクト始動(ブリーフィング)			前回授業の復習			
7		講義	プロジェクト(企画)			前回授業の復習			
8		講義	プロジェクト(企画)			前回授業の復習			
9		講義	プロジェクト(スケジュール)			前回授業の復習			
10		講義	プロジェクト(スタッフフィング・予算)			前回授業の復習			
11		講義	プロジェクト(マーケティングプランの立案)			前回授業の復習			
12		講義	プロジェクト(プロモーション)			前回授業の復習			
13		講義	プレゼンテーション			前回授業の復習			
14		講義	プレゼンテーション			前回授業の復習			
15		講義	プレゼンテーション			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	著作権(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	内藤 裕太
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	博報堂プロダクツやフリーランスの映像クリエイターを経てジョイン。人事領域も経験しながら、現在は新規コンテンツの企画・ディレクションを主に担う。						
授業の学習 内容	映像プロデュースの基礎をディスカッションを通じて学んでいきます。主に各業界を知ることからはじめて企画書の作成やプレゼンテーションに焦点を当てながら進めていく予定です。 プロデュースには「正解」が存在しません。ジャンルによって方法が異なるだけでなく、誰も挑戦したことのないことを行う際には、新たな道を自ら切り開く必要があります。 プロデュースとは何か、プロデューサーとはどのような役割かを、皆さんと一緒に探りながら、実践形式で取り組んでいきたいと思います。						
到達目標	プロジェクトの完遂						
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	・イントロダクション ・プロデューサーとディレクターの違い ・授業内容の説明 ・評価方法 ・アンケート ・プロデューサーとは？	前回授業の復習			
2		講義	・プロデューサーに関して ・各業界のプロデューサーの役目を考える ・実例をもとにディスカッションをする	前回授業の復習			
3		講義	TV業界・MVIについて	前回授業の復習			
4		講義	TV業界・MVIについて	前回授業の復習			
5		講義	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
6		講義	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
7		講義	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
8		講義	映画業界について	前回授業の復習			
9		講義	映画業界について	前回授業の復習			
10		講義	映画業界について	前回授業の復習			
11		講義	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
12		講義	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
13		講義	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
14		講義	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
15		講義	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映画史(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	羽田野直子
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	アニメーション映画『未来のいのちへ』オリジナル脚本執筆。 筒井武文監督『自由なファンシィ』アシスタントプロデューサー。						
授業の学習内容	映画の設計図ともいえる脚本。この脚本作りで重要な役割を果たすので「構成」である。 世界標準ともいえる「三幕構成」を学び、それを基に脚本分析を重ねることで脚本の基本要素や基本パラダイム(脚本の見取り図)を理解し、映画製作に応用できるようにする。						
到達目標	○基本パラダイムである三幕構成を理解する。 ○基本パラダイムを理解することにより、より質の高い脚本作り、映画作りに反映させる。						
評価方法と基準	○授業参加への意欲、出席率、課題作品への取り組み方						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	シナリオ分析についてのガイダンス①アニメ映画「カーズ」を例題に、シナリオ分析の基本、登場人物のアーキタイプを理解する。	前回授業の復習			
2		演習	シナリオ分析作品②「JUNO」○物語を前に進める主人公の役割○非日常に放り込まれた主人公の葛藤と成長○キャラクターとセリフの機能	前回授業の復習			
3		演習	シナリオ分析作品③「セブン」○セットアップでのキャラクター描写○セットアップとフィナーレに見るキャラクター・アーク(キャラクターの変化)	前回授業の復習			
4		演習	シナリオ分析作品④「スラムドッグ・ミリオネア」○二重構造(過去&現在)の中でストーリーを前進させる要素○キャラクター造形と配置	前回授業の復習			
5		演習	シナリオ分析作品⑤「テルマ&ルイズ」○的確なセットアップ○ロードムービーの状況の変化○状況の変化に伴うキャラクターの変化	前回授業の復習			
6		演習	シナリオ分析作品⑥「羊たちの沈黙」○ストーリーを動かす葛藤&トラウマ○様々な暗喩○アンタゴニスト(敵対者)とメンター(助言者)	前回授業の復習			
7		演習	シナリオ分析作品⑦「きみに読む物語」○ラブストーリーに必須の枷(かせ=障壁)○アンタゴニスト(敵対者)の変化○二重構造を繋ぐシンボル	前回授業の復習			
8		演習	シナリオ分析作品⑧「アバートの鍵貸します」○小道具による映像表現○伏線とその回収○ストーリーを貫くセントラル・クエッション	前回授業の復習			
9		演習	シナリオ分析作品⑨「ゲット・アウト」○アンタゴニストとしてのマッド・サイエンティスト○メンターとトリックスター○張り巡らされた伏線と回収	前回授業の復習			
10		演習	シナリオ分析作品⑩「おくりびと」○内的コンフリクト(葛藤)と外的コンフリクト(葛藤)○複数のアンタゴニスト(敵対者)○弁証法的構成	前回授業の復習			
11		演習	シナリオ分析作品⑪「キック・アス」○セットアップとフィナーレに見るキャラクター・アーク○メイン・プロットとサブ・プロット分析	前回授業の復習			
12		演習	シナリオ分析作品⑫「キック・アス」○セットアップとフィナーレに見るキャラクター・アーク○メイン・プロットとサブ・プロット分析	前回授業の復習			
13		演習	シナリオ分析作品⑬「キック・アス」○セットアップとフィナーレに見るキャラクター・アーク○メイン・プロットとサブ・プロット分析	前回授業の復習			
14		演習	シナリオ分析作品⑭「ショーシャンクの空に」⑫○モノログの機能○内的・外的目標○時間経過の描き方○暗喩からテーマを読み解く	前回授業の復習			
15		演習	シナリオ分析作品⑮「ショーシャンクの空に」⑫○モノログの機能○内的・外的目標○時間経過の描き方○暗喩からテーマを読み解く	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	映画史(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	羽田野直子
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	アニメーション映画『未来のいのちへ』オリジナル脚本執筆。 筒井武文監督『自由なファンシィ』アシスタントプロデューサー。						
授業の学習内容	映画の設計図ともいえる脚本。この脚本作りで重要な役割を果たすので「構成」である。 世界標準ともいえる「三幕構成」を学び、それを基に脚本分析を重ねることで脚本の基本要素や基本パラダイム(脚本の見取り図)を理解し、映画製作に応用できるようにする。						
到達目標	○シナリオ分析により三幕構成を理解、より質の高い脚本作り、映画作りに反映させる。 ○映画に関わる人間に必要な基本的なスキルとして、映画を読み解く力を向上させる。						
評価方法と基準	○授業参加への意欲、出席率、課題作品への取り組み方□						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	シナリオ分析作品①映画の基礎知識編「月世界旅行」(1902)・「大列車強盗」(1903)○世界初のSF&西部劇の構成と分析	前回授業の復習			
2		演習	シナリオ分析作品②「アナと雪の女王」を例題にシナリオ分析の基礎について復習する。	前回授業の復習			
3		演習	シナリオ分析作品③「ブレード・ランナー」○視覚イメージ○効果的な小道具○アンタゴニストの描き方	前回授業の復習			
4		演習	シナリオ分析作品④「17歳の肖像」○アンタゴニストとバッドメンターの描き方○ラブストーリー○成長物語○自伝の映画化	前回授業の復習			
5		演習	シナリオ分析作品⑤「40歳の童貞男」○キャラクター造形とキャラクターアーク○登場人物とアーキタイプについて	前回授業の復習			
6		演習	シナリオ分析作品⑥「アルゴ」○サスペンスを盛り上げるアンタゴニスト(敵・障壁)○実話のアダプテーション(脚色)について	前回授業の復習			
7		演習	シナリオ分析作品⑦「Shall we ダンス?」○オリジナルとリメイク版の比較○文化背景とその描き方	前回授業の復習			
8		演習	シナリオ分析作品⑧「ブラック・スワン」○葛藤の描き方○内的ゴールと外的ゴールの一致○現実と虚構の描き方	前回授業の復習			
9		演習	シナリオ分析作品⑨「チャイナ・タウン」○社会派ミステリー&恋愛プロットのバランス○主人公のコンフリクトと構成	前回授業の復習			
10		演習	シナリオ分析作品⑩「ブローックバック・マウンテン」○ラブストーリー○枷の描き方(社会の偏見・性差など)○悲劇の描き方	前回授業の復習			
11		演習	シナリオ分析作品⑪「ブローックバック・マウンテン」○ラブストーリー○枷の描き方(社会の偏見・性差など)○悲劇の描き方	前回授業の復習			
12		演習	シナリオ分析作品⑫「リトル・ミス・サンシャイン」○セントラル・クエッション○キャラクターの作り方○プロタゴニストとアンタゴニスト	前回授業の復習			
13		演習	シナリオ分析作品⑬「リトル・ミス・サンシャイン」○セントラル・クエッション○キャラクターの作り方○プロタゴニストとアンタゴニスト	前回授業の復習			
14		演習	シナリオ分析作品⑭「フォレスト・ガンプ/一期一会」○回想形式の展開○時間経過の描き方○アンタゴニストの多様性	前回授業の復習			
15		演習	シナリオ分析作品⑮「フォレスト・ガンプ/一期一会」○回想形式の展開○時間経過の描き方○アンタゴニストの多様性	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	メイクアップ(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	mi-co
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	前回と同じ。映画、ドラマ、CM、開発監修に携わる。 最新作品:釜山国際映画祭出展「愛に乱暴」「僕の知らない彼女」wowow「0.5の男」「ゴールドサンセット」						
授業の学習 内容	メイクの基本、マナーを学ぶ。媒体別メイク方法を学ぶ。実践撮影。作品撮りまで。						
到達目標	基礎的知識及び技術の習得						
評価方法と基準	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	メイク基礎Ⅰ	前回授業の復習			
2		演習	メイク基礎Ⅱファンデ～	前回授業の復習			
3		演習	メイク基礎Ⅱファンデ～②	前回授業の復習			
4		演習	メイクⅢ 全体仕上げる	前回授業の復習			
5		演習	メイクⅢ 全体仕上げる②	前回授業の復習			
6		演習	作品構成	前回授業の復習			
7		演習	作品構成②	前回授業の復習			
8		演習	作品撮りリハ	前回授業の復習			
9		演習	作品撮りリハ②	前回授業の復習			
10		演習	作品撮りリハ③	前回授業の復習			
11		演習	作品撮り	前回授業の復習			
12		演習	作品撮り②	前回授業の復習			
13		演習	作品撮り③	前回授業の復習			
14		演習	作品撮り返り	前回授業の復習			
15		演習	作品撮り返り②	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	メイクアップ(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	mi-co
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	前回と同じ。映画、ドラマ、CM、開発監修に携わる。 最新作品:釜山国際映画祭出展「愛に乱暴」「僕の知らない彼女」wowow「0.5の男」「ゴールドサンセット」						
授業の学習内容	メイクの基本、マナーを学ぶ。媒体別メイク方法を学ぶ。実践撮影。作品撮りまで。						
到達目標	基礎的知識及び技術の習得						
評価方法及び基準	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	映画撮り返り/今後のテーマ	前回授業の復習			
2		演習	映画撮り返り/今後のテーマ	前回授業の復習			
3		演習	老けメイク	前回授業の復習			
4		演習	老けメイク	前回授業の復習			
5		演習	ギャングロメイク/ドラッグクイーン	前回授業の復習			
6		演習	ギャングロメイク/ドラッグクイーン	前回授業の復習			
7		演習	作品案、	前回授業の復習			
8		演習	作品案、	前回授業の復習			
9		演習	作品撮りリハ	前回授業の復習			
10		演習	作品撮りリハ	前回授業の復習			
11		演習	作品撮り	前回授業の復習			
12		演習	撮り返り、作品完成	前回授業の復習			
13		演習	撮り返り、作品完成	前回授業の復習			
14		演習	作品撮り撮り返り	前回授業の復習			
15		演習	作品撮り撮り返り②	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名		英会話(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	シカマツケンジャー
学科・専攻		映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴		関西学院大学社会学部卒業。通訳・翻訳者養成校インタースクールを経てフリーランスの通訳者、翻訳者に。米国ロサンゼルスで俳優活動後、東京俳優・映画＆放送専門学校勤務。 2020年にフロリダ州認可単科大学Barbara Brennan School of Healingプロフェッショナルスタディーズ課程修了。現BHSブレナンヒーリングサイエンスプラクティショナー。							
授業の学習内容		自分の意見を伝える英語力を学びます。							
到達目標		適切な時制を使い、簡単な文章を話せるようになる。							
評価方法と基準		積極性(30%)と出席率(70%)							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	Introduce yourself (自己紹介) Subject-Verb			前回授業の復習			
2		演習	Daily Schedule (1日のスケジュール) Tense			前回授業の復習			
3		演習	Expression of nice,or like (いいね！) Emotional Expression			前回授業の復習			
4		演習	Structure of English (英文の構造) SV/SVC/SOO/SVOC			前回授業の復習			
5		演習	Pronunciation			前回授業の復習			
6		演習	Change words1 (基本センテンスと置き換え)			前回授業の復習			
7		演習	Change words2 (基本センテンスと置き換え)			前回授業の復習			
8		演習	Change words3 (基本センテンスと置き換え)			前回授業の復習			
9		演習	Have			前回授業の復習			
10		演習	Get			前回授業の復習			
11		演習	Take			前回授業の復習			
12		演習	Review			前回授業の復習			
13		演習	疑問文1 5W 1H			前回授業の復習			
14		演習	疑問文2 5W 1Hのその他			前回授業の復習			
15		演習	Review			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名		英会話(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	シカマツケンジ
学科・専攻		映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴		関西学院大学社会学部卒業。通訳・翻訳者養成校インタースクールを経てフリーランスの通訳者、翻訳者に。米国ロサンゼルスで俳優活動後、東京俳優・映画＆放送専門学校勤務。 2020年にフロリダ州認可単科大学Barbara Brennan School of Healingプロフェッショナルスタディーズ課程修了。現BHSブレナンヒーリングサイエンスプラクティショナー。							
授業の学習内容		自分の意見を伝える英語力を学びます。							
到達目標		自分の考えを相手に伝えることができるようになる。							
評価方法と基準		積極性(30%)と出席率(70%)							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	Proposal1 (提案1)			前回授業の復習			
2		演習	Proposal1 (提案2)			前回授業の復習			
3		演習	Request1 (依頼1)			前回授業の復習			
4		演習	Request1 (依頼2)			前回授業の復習			
5		演習	How to state your opinion (5感表現など)			前回授業の復習			
6		演習	Tips for speaking (話せる英語のプラスαのコツ3)			前回授業の復習			
7		演習	How to proceed of the descission (ディスカッションの進め方)			前回授業の復習			
8		演習	Discussion1			前回授業の復習			
9		演習	Discussion 2			前回授業の復習			
10		演習	Discussion3			前回授業の復習			
11		演習	Discussion for the project1			前回授業の復習			
12		演習	Discussion for the project2			前回授業の復習			
13		演習	Discussion for the project3			前回授業の復習			
14		演習	Discussion for the project4			前回授業の復習			
15		演習	Discussion for the project5			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	脚本制作(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平柳益実
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	1980年、大学在学中に石井聰互らと『狂い咲きサンダーロード』の脚本を執筆。以降、『まんが日本昔ばなし』、『シティハンター』、『飛べ！ イサミ』、『ふるさと再生 日本の昔ばなし』等TVアニメ脚本等、ゲーム、マンガ原作など執筆。シナリオコンクール審査員、日本脚本家連盟、日本放送作家協会会員。日本アカデミー協会会員。							
授業の学習内容	SNSの投稿ビデオを意識しながら、心に残る映像の魅力を探ります。シナリオ執筆未経験の学生対象として、個々のクリエイターが、それぞれの映像世界を生み出す設計図を構築していくためのテーマ、ストーリー、キャラクター創造の技法を考えていきます。シナリオ執筆経験者には、より高度な課題を提案します。適宜、新旧の名作問題をセレクト・鑑賞してそこに秘められた技法を探っていきます。							
到達目標	名作・話題作の作品分析。基本的なシナリオ作法と並行して、後期終了までにオリジナルシナリオ完成を視野に入れ、その準備を勧めます。自分の中にある「伝えたい」思いを、可能な手段を駆使してどうシナリオの形にするか試みていきます。							
評価方法及び基準	○授業参加への意欲。□ ○他の学生や講師への自分のイメージをうまく伝える技術。□ ○課題作品への取り組み方□							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	各学生の自己紹介。印象的な映像との出会い。これからどんな作品を作っていきたいか			前回授業の復習		
2		演習	ガイダンス:シナリオの基本① ○脚本とはなに？ ○どう書くの？ 必要な要素、脚本の基本を知る			前回授業の復習		
3		演習	シナリオの基本② ○テーマの発想について ○何を映像化するか			前回授業の復習		
4		演習	シナリオの基本③○三幕構成のステージ○キャラクターのアーキタイプ○ストーリー作成チャートの書込み ○創作カードの紹介			前回授業の復習		
5		演習	シナリオの基本④ ○ストーリー作成チャート発表			前回授業の復習		
6		演習	シナリオの基本⑤ ○感動の本質と心の成長(成長階層・キャラクターアーク)について			前回授業の復習		
7		演習	シナリオの基本⑥ ○セリフの発展 ○伏線・小道具のその回収方法			前回授業の復習		
8		演習	課題テーマを書く① ○共通課題のテーマについてストーリー発表			前回授業の復習		
9		演習	課題テーマを書く② ○共通課題のテーマについてシナリオを書く			前回授業の復習		
10		演習	課題テーマを書く③ ○共通課題の完成シナリオの発表			前回授業の復習		
11		演習	オリジナル・ストーリーを作る① ○優れたショート・ムービーの鑑賞&分析、多様性) ○街の中にドラマを見つける			前回授業の復習		
12		演習	オリジナル・ストーリー(短篇)を作る② ○オリジナル・ストーリーの発表			前回授業の復習		
13		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く③ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習		
14		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く④ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習		
15		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く⑤ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	脚本制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平柳益実
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	1980年、大学在学中に石井聰互らと『狂い咲きサンダーロード』の脚本を執筆。以降、『まんが日本昔ばなし』、『シティハンター』、『飛べ！イサミ』、『ふるさと再生 日本の昔ばなし』等TVアニメ脚本等、ゲーム、マンガ原作など執筆。シナリオコンクール審査員、日本脚本家連盟、日本放送作家協会会員。日本アカデミー賞協会会員。						
授業の学習内容	SNSの投稿ビデオを意識しながら、心に残る映像の魅力を探ります。シナリオ執筆未経験の学生対象として、個々のクリエイターが、それぞれの映像世界を生み出す設計図を構築していくためのテーマ、ストーリー、キャラクター創造の技法を考えていきます。シナリオ執筆経験者には、より高度な課題を提案します。適宜、新旧の名作問題作をセレクト・鑑賞してそこに秘められた技法を探っていきます。						
到達目標	前期にスタートした作品を振り返り検証し、問題点・工夫の余地を見つけ改善しながら後期の執筆作業に反映させます。執筆の進行にスピードの差も出ますが、後期終了までに完成した作品は推敲を、未完の作品は今後継続できる形にまで仕上げて行きたいと思います。						
評価方法と基準	○授業参加への意欲。□ ○他の学生や講師への自分のイメージをうまく伝える技術。□ ○課題作品への取り組み方□						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	前期の成果を客観的に評価する。 問題点の洗い直し。テーマの再確認。	前回授業の復習			
2		演習	推敲の方法を考える。 敵によって生じた影響を考える。	前回授業の復習			
3		演習	キャラクターについて考える。 似通ったキャラクター。足りないキャラクター。	前回授業の復習			
4		演習	キャラクターの登場と退場そして再登場。	前回授業の復習			
5		演習	ストーリーの転換点について。	前回授業の復習			
6		演習	ストーリーの転換点について。	前回授業の復習			
7		演習	クライマックスの設定。	前回授業の復習			
8		演習	クライマックスの設定。	前回授業の復習			
9		演習	エンディングについて。	前回授業の復習			
10		演習	小説の結末と映画の結末。	前回授業の復習			
11		演習	続編の世界。	前回授業の復習			
12		演習	スピン・オフについて。	前回授業の復習			
13		演習	後日談。	前回授業の復習			
14		演習	どこでストーリーを終えるか？	前回授業の復習			
15		演習	決定稿とは？	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映画ビジネス(1)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	中川和彦
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	CM制作会社ビッグバードへ入社。その後フリーランス制作部として活動 2024年法人設立、株式会社るりる代表。 監督、プロデューサー、プロジェクトコンサルタントとして活動中						
授業の学習 内容	実際の撮影や産学協同プロジェクトなどを交えて、実践的映像制作を学ぶ。 併せて、業界基準でのマインドの整え方、アウトプットトレーニングを通じて、業界のコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	映像制作時に自分の意見を伝えることが出来、プロジェクトのゴールから逆算できるようになる						
評価方法と基準	・自発的な行動姿勢加 ・冷静な判断、意見発言加 ・テスト理解度加						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	目標設定、クラスメイトの相互理解を深める課題	前回授業の復習			
2		演習	課題提出確認、映像業界について知識を深める	前回授業の復習			
3		演習	撮影プロジェクトの説明	前回授業の復習			
4		演習	企画の作り方、実際に企画書を作成します	前回授業の復習			
5		演習	クラス内企画相談会1、および修正	前回授業の復習			
6		演習	企画プレゼンテーション	前回授業の復習			
7		演習	企画から準備へ移行、クラスメイト内ポジション決定	前回授業の復習			
8		演習	撮影準備 書類の作成方法を学ぶ	前回授業の復習			
9		演習	撮影準備 発注物などの確認、オーディションの勉強	前回授業の復習			
10		演習	撮影準備 発注物などの確認、オーディションの勉強	前回授業の復習			
11		演習	撮影	前回授業の復習			
12		演習	撮影	前回授業の復習			
13		演習	ポストプロダクション、編集、タイトル入れ、カラーグレーディングなど	前回授業の復習			
14		演習	ポストプロダクション、MA、本編集、およびクライアントチェック 納品	前回授業の復習			
15		演習	初回に立てた目標達成の確認、及び今後の改善点と課題のリストアップ、簡単なテスト	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名		映画ビジネス(2)		必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	中川和彦
学科・専攻		映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴		CM制作会社ビッグバードへ入社。その後フリーランス制作部として活動 2024年法人設立、株式会社るりる代表。 監督、プロデューサー、プロジェクトコンサルタントとして活動中							
授業の学習 内容		実際の撮影や産学協同プロジェクトなどを交えて、実践的映像制作を学ぶ。 併せて、業界基準でのマインドの整え方、アウトプットトレーニングを通じて、業界のコミュニケーションを学ぶ。							
到達目標		映像制作時に自分の意見を伝えることが出来、プロジェクトのゴールから逆算できるようになる							
評価方法と基準		・自発的な行動姿勢加 ・冷静な判断、意見発言加 ・テスト理解度加							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	後期の目標設定、クラスメイトの相互理解を深める			前回授業の復習			
2		演習	課題提出確認、映像業界について知識を深める			前回授業の復習			
3		演習	撮影プロジェクトの説明			前回授業の復習			
4		演習	企画の作り方、実際に企画書を作成します			前回授業の復習			
5		演習	クラス内企画相談会1、および修正			前回授業の復習			
6		演習	企画プレゼンテーション			前回授業の復習			
7		演習	企画から準備へ移行、クラスメイト内ポジション決定			前回授業の復習			
8		演習	撮影準備 書類の作成方法を学ぶ			前回授業の復習			
9		演習	撮影準備 発注物などの確認、オーディションの勉強			前回授業の復習			
10		演習	撮影準備 発注物などの確認、オーディションの勉強			前回授業の復習			
11		演習	撮影			前回授業の復習			
12		演習	撮影			前回授業の復習			
13		演習	ポストプロダクション、編集、タイトル入れ、カラーグレーディングなど			前回授業の復習			
14		演習	ポストプロダクション、MA、本編集、およびクライアントチェック 納品			前回授業の復習			
15		演習	初回に立てた目標達成の確認、及び今後の改善点と課題のリストアップ、簡単なテスト			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	映画美術(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	和田洋
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	劇場用映画 TVドラマ CM PV ゲーム映像などの美術デザインに携わり40年の実績を持つ。						
授業の学習内容	映像制作における美術という仕事の理解 セットデザインの基礎 図面から紙細工として立体物を作り出す						
到達目標	映像制作における美術の役割、仕事内容を理解する。図面を理解する。						
評価方法と基準	出席率 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	授業を受ける心構え 学生との対話 質問受付		前回授業の復習		
2		演習	映画美術概論		前回授業の復習		
3		演習	イメージの具現化について 装置と装飾の考え方について 他特撮などの考え方		前回授業の復習		
4		演習	撮影対象として作り出される美術空間 縮尺の考え方 図面の考え方		前回授業の復習		
5		演習	撮影対象として作り出される美術空間 縮尺の考え方 図面の考え方②		前回授業の復習		
6		演習	立体物から図面作成 図面から立体物を作成		前回授業の復習		
7		演習	ミニチュアの考え方 合成の作業を学ぶ		前回授業の復習		
8		演習	イメージを図面化実際に作る作業をする		前回授業の復習		
9		演習	イメージを図面化実際に作る作業をする②		前回授業の復習		
10		演習	イメージを図面化実際に作る作業をする③		前回授業の復習		
11		演習	イメージを図面化実際に作る作業をする④		前回授業の復習		
12		演習	ミニチュア撮影		前回授業の復習		
13		演習	ミニチュア撮影②		前回授業の復習		
14		演習	ミニチュア撮影③		前回授業の復習		
15		演習	合評会 美術復習授業		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映画美術(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	和田洋
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	劇場用映画 TVドラマ CM PV ゲーム映像などの美術デザインに携わり40年の実績を持つ。						
授業の学習内容	撮影のための空間表現 イメージを具現化 映像化する事を学ぶ。図面から紙細工として立体物を作り出し、映像作品を制作してみる						
到達目標	映像制作における美術の役割、仕事内容を理解する。図面を理解する。						
評価方法と基準	出席率 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	建築知識 空間設計についての要点説明。前期に引き続きミニチュア作成 作ってみたいセットについて考える	前回授業の復習			
2		演習	建築知識 空間設計についての要点説明。前期に引き続きミニチュア作成 作ってみたいセットについて考える	前回授業の復習			
3		演習	ドラマが生まれる建物について ミニチュア作成作業 撮影用絵コンテ企画考える	前回授業の復習			
4		演習	ドラマが生まれる建物について ミニチュア作成作業 撮影用絵コンテ企画考える	前回授業の復習			
5		演習	ミニチュア作成作業 撮影用絵コンテ作成 作ってみたいセット案決め	前回授業の復習			
6		演習	ミニチュア作成作業 撮影用絵コンテ作成 作ってみたいセット案決め	前回授業の復習			
7		演習	各自ミニチュア作成作業完成 道路、街作り	前回授業の復習			
8		演習	各自ミニチュア作成作業完成 道路、街作り	前回授業の復習			
9		演習	道路、街作り ホリゾン作成	前回授業の復習			
10		演習	道路、街作り ホリゾン作成	前回授業の復習			
11		演習	道路、街作り ホリゾン作成	前回授業の復習			
12		演習	撮影(教室内)	前回授業の復習			
13		演習	撮影(教室内)	前回授業の復習			
14		演習	撮影(教室内)	前回授業の復習			
15		演習	合評会 美術復習授業	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映画音楽(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	萩野 賢
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	フジサンケイグループの(株)共同エディットに所属。MAのミキサーとして、フジテレビの番組を中心に30年以上の参加実績も持つ。 ドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー、報道、スポーツと多様なジャンルを経験。近年は音響効果としても活動中。						
授業の学習 内容	MAは映像作品を完成させるうえでの最終工程である。音の可能性を理解する事、作品を完成させる最終工程を理解する事で表現の面では「企画・演出」、「撮影・収録」「編集」での演出方法の選択肢を増やすとともに、完成をイメージしながら逆算して制作が出来るようになる。 受講者には同じ機材を使っても、発想やイメージが違う事で全く違う作品になることを体験してほしい。また自分がどの職種が楽しいのか向いているのかを発見してほしい。 授業は、表現する事が目的であることをまず共有する。そしてその表現を具現化する為にどのような能力を獲得する必要があるのかを学んで頂く。 同時に講師の成功体験・失敗体験を共有し、実践に必要な社会性の育成を目指す。 前期は、基礎知識の習得と、音の仕事を体感するのを目的した「体験授業」拡大版のスタイル。後期は機材の使い方の習得を目的としてラジオ番組の制作をする。						
到達目標	・音の仕事に必要な基礎知識の習得 ・普段観ている作品がどのように創られているのかを理解し、 制作過程を想像出来るようになる						
評価方法と基準	授業に対する意欲・出席率＝70％ ※但し、ただ居るだけでスマホをいじっているような場合は評価の対象とみなさない 周囲の学習の妨げになる行動は減点の対象とする 課題の提出＝15％ 課題の内容＝15％						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	ガイダンス(目的の確認・プロになる為に必要な事) 授業計画の共有＝MAの授業全体を理解できる			前回授業の復習	
2		演習	・音とは何? ・音の性質 ・マイクの仕組みと使い方			前回授業の復習	
3		演習	・マイクの仕組みと使い方			前回授業の復習	
4		演習	・マイクの仕組みと使い方②			前回授業の復習	
5		演習	・【音の表現】 音の3要素+1の座学と、体感する為の実習をおこなう			前回授業の復習	
6		演習	・【音の表現】 音の3要素+1の座学と、体感する為の実習をおこなう			前回授業の復習	
7		演習	・【音の表現】 音の3要素+1の座学と、体感する為の実習をおこなう			前回授業の復習	
8		演習	・【音の表現】 音の3要素+1の座学と、体感する為の実習をおこなう			前回授業の復習	
9		演習	・【音の表現】音の3要素+1の座学と、体感する実習をおこなう ・選曲のお仕事			前回授業の復習	
10		演習	・【音の表現】音の3要素+1の座学と、体感する実習をおこなう ・音響効果のお仕事			前回授業の復習	
11		演習	・【音の表現】音の3要素+1の座学と、体感する実習をおこなう ・ミキサーのお仕事			前回授業の復習	
12		演習	・アナログ/デジタルの違い ・オーディオインタフェイスをつなぐ ・パソコンソフト(DAW)を使って録音する			前回授業の復習	
13		演習	・protocolsの使い方 DAWで編集が出来るようになる			前回授業の復習	
14		演習	前期試験。			前回授業の復習	
15		演習	試験を振り返り、理解のうすい部分の確認。□			前回授業の復習	
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	映画音楽(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	萩野 賢
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	フジサンケイグループの(株)共同エディットに所属。MAのミキサーとして、フジテレビの番組を中心に30年以上の参加実績も持つ。 ドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー、報道、スポーツと多様なジャンルを経験。近年は音響効果としても活動中。						
授業の学習 内容	エンタテインメントにおいて音の表現が担う役割は重要である。MAは映像作品を完成させるうえでの最終工程である。音の可能性を理解し、作品を完成させる最終工程を理解する事で、表現の面では「企画・演出」、「撮影・収録」、「編集」での演出方法の選択肢を増やすとともに、完成をイメージしながら逆算して制作が出来るようになる。 受講者には同じ機材を使っても、発想やイメージが違う事で全く違う作品になることを体験してほしい。また自分がどの職種が楽しいのか、向いているのかを発見してほしい。 授業は、表現する事が目的であることをまず共有する。そしてその表現を具現化する為に必要な知識は何なのか？、必要な機材は？、必要な操作方法は？と通り結果を生む為に何を学び、経験する必要があるのか考えて行動して頂く。同時に講師の成功体験・失敗体験を共有し、実践で必要な社会性の育成を目指す。						
到達目標	・プロの会話の内容が理解できるレベルの基礎知識を身につける ・初歩的な作品を、特定の機材を使って制作できる ・ラジオ番組制作を通じて、MA室の設備での収録、および編集・選曲の基礎を理解する						
評価方法と基準	授業に対する意欲・出席率＝80％ ※但し、ただ居るだけでスマホをいじっているような場合は評価の対象とみなさない 目的を持った行動があるか＝20％						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		演習	・後期授業・概要、目的共有 ・ラジオ番組の企画、役割分担を決める。編集を理解する	前回授業の復習			
2		演習	・基本的なProtoolsの使い方	前回授業の復習			
3		演習	・基本的なProtoolsの使い方	前回授業の復習			
4		演習	・基本的なProtoolsの使い方	前回授業の復習			
5		演習	・基本的なProtoolsの使い方	前回授業の復習			
6		演習	スタジオセッティング学習、音楽の編集 →MA室の機材の基本的な使い方を習得できる	前回授業の復習			
7		演習	スタジオセッティング学習、音楽の編集 →MA室の機材の基本的な使い方を習得できる	前回授業の復習			
8		演習	スタジオセッティング学習、音楽の編集 →MA室の機材の基本的な使い方を習得できる	前回授業の復習			
9		演習	スタジオセッティング学習、音楽の編集 →MA室の機材の基本的な使い方を習得できる	前回授業の復習			
10		演習	リハーサル(機材セッティングおよび収録実習)	前回授業の復習			
11		演習	本番(機材セッティングおよび収録実習)	前回授業の復習			
12		演習	編集(コメント・音楽・効果音、およびジングル作成) →自分の感性で、音を作り上げる。音の編集の基礎を習得する	前回授業の復習			
13		演習	編集(コメント・音楽・効果音、およびジングル作成) →自分の感性で、音を作り上げる。音の編集の基礎を習得する	前回授業の復習			
14		演習	編集(コメント・音楽・効果音、およびジングル作成) →自分の感性で、音を作り上げる。音の編集の基礎を習得する	前回授業の復習			
15		演習	編集(コメント・音楽・効果音、およびジングル作成) →自分の感性で、音を作り上げる。音の編集の基礎を習得する	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	撮影(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大木スミオ
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明助手、撮影助手を経て1990年フリーの撮影監督として独立。JR東日本、サントリー、花王、ローソン、JRA、日本ハムなど、CMを中心に数多くの作品を担当。劇場公開作品として劇映画「日本の悲劇」「ハッピーメール」「ドキュメンタリー「幻を見るひと・京都の吉増剛造」」などがある。日本撮影監督協会所属。						
授業の学習内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。 映画撮影技術全般の座学及び実習。						
到達目標	基礎的知識及び技術の習得						
評価方法と基準	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	概要説明／映像表現とは何か(カメラでできること)		前回授業の復習		
2		演習	監督たちの方法論／日本映画黄金期の監督とカメラマン		前回授業の復習		
3		演習	カメラとレンズの基礎知識		前回授業の復習		
4		演習	カメラとレンズの基礎知識		前回授業の復習		
5		演習	カメラの扱い方(1)／カメラの設置(グリップ)を中心に		前回授業の復習		
6		演習	カメラの扱い方(2)／カメラの設定・カメラメニューを使ってみる		前回授業の復習		
7		演習	フィルムからデジタルへ／映像の原理、カメラの仕組み、撮影機材など		前回授業の復習		
8		演習	撮影／白黒グレーの立方体を各同色バックで撮影してみる		前回授業の復習		
9		演習	照明と露出の関係／F値と倍率		前回授業の復習		
10		演習	色彩の研究		前回授業の復習		
11		演習	撮影／光を探して(オープン撮影)		前回授業の復習		
12		演習	フレーミング／構図と画角		前回授業の復習		
13		演習	フレーミング／構図と画角		前回授業の復習		
14		演習	画を繋ぐ／サイズを選択、アングル、カット割など		前回授業の復習		
15		演習	画を繋ぐ／サイズを選択、アングル、カット割など		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	撮影(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大木スミオ
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明助手、撮影助手を経て1990年フリーの撮影監督として独立。JR東日本、サントリー、花王、ローソン、JRA、日本ハムなど、CMを中心に数多くの作品を担当。劇場公開作品として劇映画「日本の悲劇」「ハッピーメール」ドキュメンタリー「幻を見るひと・京都の吉増剛造」などがある。日本撮影監督協会所属。							
授業の学習内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。 映画撮影技術全般の産学及び実習。							
到達目標	基礎的知識及び技術の習得							
評価方法及基準	美的センスと表現スキル、応用力40％ 出席率及び向上心30％ 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20％ 協調性10％ の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	カメラワークの研究			前回授業の復習		
2		演習	繋がりを考えるシーンの組み立て			前回授業の復習		
3		演習	繋がりを考えるシーンの組み立て			前回授業の復習		
4		演習	光を作る			前回授業の復習		
5		演習	光を作る			前回授業の復習		
6		演習	作品の質を高めるために			前回授業の復習		
7		演習	作品の質を高めるために			前回授業の復習		
8		演習	オリジナル脚本『黒い箱』撮影① レンズ・ポジション・サイズの選択、撮影の進め方などを学ぶ。			前回授業の復習		
9		演習	オリジナル脚本『黒い箱』撮影② レンズ・ポジション・サイズの選択、撮影の進め方などを学ぶ。			前回授業の復習		
10		演習	『黒い箱』撮影③			前回授業の復習		
11		演習	『黒い箱』撮影④			前回授業の復習		
12		演習	『黒い箱』撮影⑤			前回授業の復習		
13		演習	『黒い箱』撮影⑥			前回授業の復習		
14		演習	『黒い箱』編集・ラッシュ試写			前回授業の復習		
15		演習	まとめ			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	照明(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	持宮信
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	1980年から富田邦次氏に師事し、テレビコマーシャルの現場で照明助手として活動を始める。下記代表作 『チーム・バチスタの栄光』(中村義洋監督・2008) 『ハナミズキ』(土井裕泰監督・2010) 『実相寺昭雄の世界“ウルトラマン創作秘話”』(高橋巖 監督・2022) ゆうちょ銀行「定額貯金」TV-CM KIRIN「チューハイ・ピタース」TV-CM サントリー「鏡月」シリーズ TV-CM 他多数						
授業の学習内容	最新映像の光創りを基礎から学べる授業。光の3原色、色のフィルム撮影、4K、8Kデジタル撮影の基本ライティング技法の習得						
到達目標	光と色の成り立ちから、映像に必要な不可欠な照明技術の基礎を学習、習得						
評価方法と基準	積極性と表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	ライティングの目的	前回授業の復習			
2		演習	照明機材の紹介と取り扱い方(村越氏)	前回授業の復習			
3		演習	露出計とカラーメーター(杉山氏)	前回授業の復習			
4		演習	色温度について	前回授業の復習			
5		演習	色温度について	前回授業の復習			
6		演習	加色法・補色の説明	前回授業の復習			
7		演習	電源について・照明機材の取り扱いなど	前回授業の復習			
8		演習	スタジオライティングの基礎（三点照明）	前回授業の復習			
9		演習	人物ライティングの実践① スタジオ内	前回授業の復習			
10		演習	人物ライティングの実践② 校内ロケ	前回授業の復習			
11		演習	人物ライティングの実践③ 校内ロケ	前回授業の復習			
12		演習	野外撮影の実践①	前回授業の復習			
13		演習	野外撮影の実践②	前回授業の復習			
14		演習	野外撮影の実践③	前回授業の復習			
15		演習	前期の復習とテスト	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

[illegible]

授業名	録音(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	須藤浩
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	1982.3月専門学校を卒業。同年に音響製作会社(英語教材等編集・P A&Recording)入社。15年所属した後2003.4に(有)サウンド・オフィスを立ち上げ現在に至る。海外アーティスト、ダンサーとのコラボイベント、LIVE、芝居、ミュージカル(2.5次元系)などを中心に活動する会社。講師歴は30年目。						
授業の学習内容	SR(PA)とは何か、どのような作業が有り、エンターテインメントの分野における関わり方を理解して実践に望む。学校所有の機材を理解し、それ以外の機材も理解し校内のイベント、舞台製作公演、学園祭、などのオペレーションのアシスタントが出来るように実習する。						
到達目標	基本セットを理解してイベントや体験入学、中間公演のアシスタントが出来るようになる。						
評価方法及び基準	積極性と表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	SR(PA)とは～8のじ巻き、マイク(SP)スタンド、機材の説明	前回授業の復習			
2		演習	学校所有の機材確認・説明。マイク、ケーブル、スタンドの扱い方。	前回授業の復習			
3		演習	基本セットの説明。信号の流れを理解し実際の音だし(1)	前回授業の復習			
4		演習	基本セットの説明。信号の流れを理解し実際の音だし(2)	前回授業の復習			
5		演習	ワイヤレスマイクの説明。モニターシステム、イヤモニの説明	前回授業の復習			
6		演習	ミキサーの説明(1)	前回授業の復習			
7		演習	ミキサーの説明(2)	前回授業の復習			
8		演習	アンプ、スピーカー、他機材の説明。	前回授業の復習			
9		演習	実際のライブを想定しての実習(1)	前回授業の復習			
10		演習	実際のライブを想定しての実習(2)□	前回授業の復習			
11		演習	実際のライブを想定しての実習(3)□	前回授業の復習			
12		演習	実際のライブを想定しての実習(4)□	前回授業の復習			
13		演習	試験内容の確認。	前回授業の復習			
14		演習	前期試験。	前回授業の復習			
15		演習	試験を振り返り、理解のうすい部分の確認。□	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画・放送専門学校							

授業名	録音(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	須藤浩
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	1982.3月専門学校を卒業。同年に音響製作会社(英語教材等編集・P A&Recording)入社。15年所属した後2003.4に(有)サウンド・オフィスを立ち上げ現在に至る。海外アーティスト、ダンサーとのコラボイベント、LIVE、芝居、ミュージカル(2.5次元系)などを中心に活動する会社。講師歴は30年目。							
授業の学習内容	SR(PA)とは何か、どのような作業が有り、エンターテインメントの分野における関わり方を理解して実践に望む。学校所有の機材を理解し、それ以外の機材も理解し校内のイベント、舞台製作公演、学園祭、などのオペレーションのアシスタントが出来るように実習する。							
到達目標	デジタルミキサーを学び卒業・進級公演のスタッフとして参加出来るようになる。							
評価方法と基準	積極性と表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期のおさらい			前回授業の復習		
2		演習	デジタルミキサー 1(説明)口			前回授業の復習		
3		演習	デジタルミキサー 2(実際の使い方)口			前回授業の復習		
4		演習	デジタルミキサー 3(応用)			前回授業の復習		
5		演習	デジタルミキサー 3(応用)			前回授業の復習		
6		演習	内部エフェクト(EQ,空間系,ダイナミックス系)			前回授業の復習		
7		演習	内部エフェクト(EQ,空間系,ダイナミックス系)			前回授業の復習		
8		演習	プランの仕方～設定			前回授業の復習		
9		演習	ワイヤレスマイク			前回授業の復習		
10		演習	試験問題 発表			前回授業の復習		
11		演習	試験			前回授業の復習		
12		演習	舞台公演仕込み			前回授業の復習		
13		演習	舞台公演仕込み			前回授業の復習		
14		演習	舞台公演仕込み			前回授業の復習		
15		演習	舞台公演仕込み			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	演出(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	小路紘史
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	90(3単位)		
教員の略歴	映画監督。長編デビュー作 映画「ケンとカズ」は東京国際映画祭 日本映画スプラッシュ部門で作品賞を受賞するほか、様々な新人監督賞を受賞。2020年には長編映画「辰巳」を制作。 テレビ東京「GIVER」や「珈琲いかがでしょう」で、テレビドラマでの監督も務める。						
授業の学習内容	映像作品制作。監督、撮影、照明、メイク、小道具、俳優を俳優科生徒が経験することによって役割を把握する。						
到達目標	撮られた映像を通して自分の演技を確認してもらい課題の克服が目的です。課題台本の読み方、キャラクター背景の把握、その課題映画のテーマの把握、当日の相手俳優との演技のやりとりなど俳優がしないといけない事全般の向上。色々な課題台本を用意するので色々なバリエーションへの対応を達成目標にします。						
評価方法と基準	意欲をもって自分の担当分野を担当しているか、協調性をもって取り組んでいるか、作品を完成させるという意気込みとやる気が評価基準です。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オーディション	前回授業の復習			
2		演習	撮影準備 本読みを通して台本の理解を深める	前回授業の復習			
3		演習	撮影 カメラを通して撮られることへの意識。	前回授業の復習			
4		演習	撮影 キャラクターへの理解を深める	前回授業の復習			
5		演習	撮影 順撮りではない撮影に慣れる	前回授業の復習			
6		演習	撮影 順撮りではない撮影に慣れる	前回授業の復習			
7		演習	撮影 順撮りではない撮影に慣れる	前回授業の復習			
8		演習	撮影 撮影した素材を観て、改善点を探す	前回授業の復習			
9		演習	撮影 改善点の復習、改善	前回授業の復習			
10		演習	撮影 撮影終盤のテーマの回収を意識する	前回授業の復習			
11		演習	撮影 台本のテーマに沿って撮影出来ているかを復習する	前回授業の復習			
12		演習	撮影	前回授業の復習			
13		演習	撮影	前回授業の復習			
14		演習	撮影	前回授業の復習			
15		演習	撮影	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	演出(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	小路紘史
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	90(3単位)		
教員の略歴	映画監督。長編デビュー作 映画「ケンとカズ」は東京国際映画祭 日本映画スプラッシュ部門で作品賞を受賞するほか、様々な新人監督賞を受賞。2020年には長編映画「辰巳」を制作。 テレビ東京「GIVER」や「珈琲いかがでしょう」で、テレビドラマでの監督も務める。						
授業の学習内容	映像作品制作。監督、撮影、照明、メイク、小道具、俳優を俳優科生徒が経験することによって役割を把握する。						
到達目標	撮られた映像を通して自分の演技を確認してもらい課題の克服が目的です。課題台本の読み方、キャラクター背景の把握、その課題映画のテーマの把握、当日の相手俳優との演技のやりとりなど俳優がしないといけない事全般の向上。色々な課題台本を用意するので色々なバリエーションへの対応を達成目標にします。						
評価方法と基準	意欲をもって自分の担当分野を担当しているか、協調性をもって取り組んでいるか、作品を完成させるという意気込みとやる気が評価基準です。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オーディション	前回授業の復習			
2		演習	撮影準備 自分のキャラクターの理解度を深める読み方をする。	前回授業の復習			
3		演習	撮影準備 リハーサルを通して、予習をする。	前回授業の復習			
4		演習	撮影 撮影現場に慣れていく	前回授業の復習			
5		演習	撮影 カメラの写り方を知る	前回授業の復習			
6		演習	撮影 様々な相手役との芝居を通して対応力を深める	前回授業の復習			
7		演習	撮影 監督の演出を聞き実践する	前回授業の復習			
8		演習	撮影 順撮りではない撮影に慣れる	前回授業の復習			
9		演習	撮影 順撮りではない撮影に慣れる	前回授業の復習			
10		演習	撮影 撮影素材を確認しながら改善点を探す	前回授業の復習			
11		演習	撮影 撮影素材を確認しながら改善点を探す	前回授業の復習			
12		演習	撮影 撮影素材を確認しながら改善点を探す	前回授業の復習			
13		演習	撮影 ラストシーンに向けての準備	前回授業の復習			
14		演習	撮影 ラストシーンに向けての準備	前回授業の復習			
15		演習	撮影 ラストシーンに向けての準備	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	編集(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。						
授業の学習 内容	映像編集に関するビデオの知識の学習とMacOSを使用した編集の技術習得を目的とする。 映像編集を行うにはディレクションの他にカメラの種類や記録媒体、パソコン(授業の場合Mac)の基礎的な知識が必要となる。 それに加え実際の編集アプリケーションの使用法の習得が必要となるの1コマの前半は座学での知識習得や技術方法の習得、 後半に学習した内容の実践を実技形式で行う。						
到達目標	Final Cut Proの技術習得 素材の取り込みから書き出し						
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	PC基礎 スマホやタブレットとの違い、タイピングなど	前回授業の復習			
2		演習	MacOSの操作方法 Windowsとの違いやファイル管理方法	前回授業の復習			
3		演習	動画編集とは？ 編集概念や FinalCutでBGMに合わせてスライドショーの編集	前回授業の復習			
4		演習	編集基礎① 動画素材を読み込み、ブレードツールで不要な箇所のカット編集	前回授業の復習			
5		演習	編集基礎② 動画素材を読み込み、簡単なカット編集をする	前回授業の復習			
6		演習	動画編集実践① セリフや内容に合わせて動画編集を行う	前回授業の復習			
7		演習	動画編集実践② 前週の内容の続き、項目ごとに説明をしながら進めていく	前回授業の復習			
8		演習	動画編集実践③ 前週の内容の続き、項目ごとに説明をしながら進めていく	前回授業の復習			
9		演習	動画編集応用① 様々なツールを使用した動画編集の応用	前回授業の復習			
10		演習	動画編集応用② オーディオをメインとした編集方法	前回授業の復習			
11		演習	動画編集応用③ エフェクトやトランジションを使用した映像の装飾	前回授業の復習			
12		演習	動画編集応用④ 複数のカメラで撮影された素材のマルチカメラ編集	前回授業の復習			
13		演習	仕上げ 編集を終えた作品の書き出し方法と総復習	前回授業の復習			
14		演習	仕上げ 編集を終えた作品の書き出し方法と総復習	前回授業の復習			
15		演習	編集実技テスト(前期)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	編集(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。							
授業の学習 内容	映像編集に関するビデオの知識の学習とMacOSを使用した編集の技術習得を目的とする。 映像編集を行うにはディレクションの他にカメラの種類や記録媒体、パソコン(授業の場合Mac)の基礎的な知識が必要となる。 それに加え実際の編集アプリケーションの使用方法の習得が必要となるので1コマ目の前半は座学での知識習得や技術方法の習得、 後半に学習した内容の実践を実技形式で行う。							
到達目標	Premiere Proの技術習得 自分の作品(デモリール)の作成							
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	プレミアとは？FinalCutProとの違い			前回授業の復習		
2		演習	撮影素材の取り込みとパソコンでの素材管理、名前付け、管理方法			前回授業の復習		
3		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ①			前回授業の復習		
4		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ②			前回授業の復習		
5		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ③			前回授業の復習		
6		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ④			前回授業の復習		
7		演習	タイムライン応用 実践的なツールの紹介と実習			前回授業の復習		
8		演習	アニメーション プレミア内でのキーフレームアニメーションの方法			前回授業の復習		
9		演習	プレミア内でのオーディオの編集			前回授業の復習		
10		演習	プレミアでのエフェクトの適用方法と活用			前回授業の復習		
11		演習	プレミアでの合成(クロマキー)とブレンドモード			前回授業の復習		
12		演習	カラーコレクションの基本と応用			前回授業の復習		
13		演習	プレミアでのタイトルの作成方法と編集			前回授業の復習		
14		演習	Adobe他ソフトとの連携 プレミアでの動画書き出し方法とMediaEncoderへの送信方法			前回授業の復習		
15		演習	Adobe他ソフトとの連携 プレミアでの動画書き出し方法とMediaEncoderへの送信方法			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	CG制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	早川 孝之
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)						
教員の略歴	2008年 円谷プロダクション 2013年 D.A.G 2019年 中国天津 2020年 IMAGICA Lab 2021年 STUDIO TRIDEA						
授業の学習 内容	MAYA初級 MAYAの操作 モデリング基礎 シューディング/UV/テクスチャ ライティング/レンダリング Photosho/ Illustrator						
到達目標	モデルを自分の力で一通り完成まで出来るようになる						
評価方法と基準	・CGの理解 ・MAYAの基本的なオペレーションの理解 ・基礎的なモデリングの理解						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	MAYA アプリケーション操作	前回授業の復習			
2		演習	MAYA アプリケーション操作	前回授業の復習			
3		演習	MAYA ワークフローの説明	前回授業の復習			
4		演習	MAYA ワークフローの説明	前回授業の復習			
5		演習	基礎モデリング ツールの説明	前回授業の復習			
6		演習	基礎モデリング ツールの説明	前回授業の復習			
7		演習	基礎モデリング UV	前回授業の復習			
8		演習	基礎モデリング UV	前回授業の復習			
9		演習	基礎モデリング UV練習	前回授業の復習			
10		演習	基礎モデリング テクスチャ	前回授業の復習			
11		演習	基礎モデリング テクスチャ	前回授業の復習			
12		演習	基礎モデリング テクスチャ練習	前回授業の復習			
13		演習	基礎モデリング テクスチャ練習	前回授業の復習			
14		演習	モデリング課題	前回授業の復習			
15		演習	モデリング課題	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	CG制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	早川 孝之
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2008年 円谷プロダクション 2013年 D.A.G 2019年 中国天津 2020年 IMAGICA Lab 2021年 STUDIO TRIDEA						
授業の学習 内容	MAYA初級 MAYAの操作 モデリング基礎 シェーディング/UV/テクスチャ ライティング/レンダリング Photosho/ Illustrator						
到達目標	モデルを自分の力で一通り完成まで出来るようになる						
評価方法と基準	・CGの理解 ・MAYAの基本的なオペレーションの理解 ・基礎的なモデリングの理解						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
2		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
3		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
4		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
5		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
6		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
7		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
8		演習	モデリング制作 中級 (モデリング、UV、テクスチャ、シェーディング、ライティング/レンダリング)	前回授業の復習			
9		演習	モデリング制作 課題 部屋を作る	前回授業の復習			
10		演習	モデリング制作 課題 部屋を作る	前回授業の復習			
11		演習	モデリング制作 課題 部屋を作る	前回授業の復習			
12		演習	モデリング制作 課題 部屋を作る	前回授業の復習			
13		演習	簡単なアニメーション	前回授業の復習			
14		演習	簡単なアニメーション	前回授業の復習			
15		演習	簡単なアニメーション	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	アニメーション制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	馬渡貴志
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アニメーション/CG/VFXスーパーバイザー。 (株)白組を経て独立。代表作に「ジュブナイル」「リターナー」「カムイの剣」「幻魔大戦」「ダロス」「巨神ゴッグ」他多数。 (一社)日本映画テレビ技術協会アニメーション部会長。						
授業の学習 内容	前期はAdobe After Effects、Adobe Photoshop、Adobe Media Encoder等の使用方法や動画映像技術の基礎から学び始め、後期ではAutodesk MayaのEffects機能も 使用し、様々なエフェクトへの理解を深め、VFXシーンが作成できるようにする。 適宜、課題を出題するので課題を制作、それを評価する。課題の評価は成績に反映させる。						
到達目標	ソフトウェアを使用して使用法を身に着けるとともに、デジタル映像の基礎を学び、動画映像が作成できるようにする。 CGクリエイター検定、及びポストプロ検定を受験し合格を目指す。3年生は就職活動のポートフォリオとして使えるVFXを用いた動画作品を自分で企画し制作する。						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	1. ガイダンス 2. ソフトウェアの理解		前回授業の復習		
2		演習	1. 動画の約束を理解する。2. 全てのレイヤーを扱う 3. キーフレームの設定		前回授業の復習		
3		演習	全てのレイヤーを扱う		前回授業の復習		
4		演習	全てのレイヤーを扱う モーションブラー、レンダリング		前回授業の復習		
5		演習	全てのレイヤーを扱う モーションブラー、レンダリング		前回授業の復習		
6		演習	3Dレイヤーとカメラ、ライト		前回授業の復習		
7		演習	3Dレイヤーとカメラ、ライト アドビメディアエンコーダーの使用法を理解する。		前回授業の復習		
8		演習	自然現象を作成する		前回授業の復習		
9		演習	自然現象を作成する		前回授業の復習		
10		演習	キー合成		前回授業の復習		
11		演習	キー合成、ロトスコープ		前回授業の復習		
12		演習	デジタル画像データの理解		前回授業の復習		
13		演習	マット合成 αチャンネル		前回授業の復習		
14		演習	高度な合成		前回授業の復習		
15		演習	高度な合成2		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	アニメーション制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	馬渡貴志
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	アニメーション/CG/VFXスーパーバイザー。 (株)白組を経て独立。代表作に「ジブリナイル」「リターナー」「カムイの剣」「幻魔大戦」「ダロス」「巨神ゴーク」他多数。 (一社)日本映画テレビ技術協会アニメーション部会長。						
授業の学習内容	前期はAdobe After Effects、Adobe Photoshop、Adobe Media Encoder等の使用方法や動画画像技術の基礎から学び始め、後期ではAutodesk MayaのEffects機能も使用し、様々なエフェクトへの理解を深め、VFXシーンが作成できるようにする。 適宜、課題を出題するので課題を制作、それを評価する。課題の評価は成績に反映させる。						
到達目標	画像合成をマスターする。MAYAのVFX理解をしMAYAとのAEとの連携を理解する。						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	別マッパ合成とロスコープマスク	前回授業の復習			
2		演習	別マッパ合成とロスコープマスク	前回授業の復習			
3		演習	別マッパ合成とロスコープマスク	前回授業の復習			
4		演習	別マッパ合成とロスコープマスク	前回授業の復習			
5		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
6		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
7		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
8		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
9		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
10		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
11		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
12		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
13		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
14		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
15		演習	mayaのVFXを学びAEとの組み合わせ、連携を学ぶ	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	進級制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	北見翔
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	GROUP THEATREに所属。銀河劇場、東京芸術劇場シアターイーストなどで主演として舞台を踏む。2019年から約2年間、英語習得と演技の可能性を広げるため留学。帰国後、成井豊演出舞台「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、内田英二監督映画「サイレントラブ」などに出演。舞台から映像まで幅広く活動し、現在に至る。						
授業の学習内容	シーンワークを中心とし、作品への取り組み方・理解を深め、自分の感性を磨く						
到達目標	シーンを通じて、相手との向き合い方を学ぶ。一つ一つの瞬間を繋げるために台詞の表面ではなく、その裏側に隠されたメッセージを深く理解し、自分らしくアウトプット出来るようにする。						
評価方法と基準	毎回授業に参加し、各々の課題にしっかりと向き合い準備する。その姿勢と結果に基づいて評価する。出席率:70% 実技:30%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オリエンテーション・課題ヒアリング	前回授業の復習			
2		演習	シアターゲーム・五感を起こすエクササイズ	前回授業の復習			
3		演習	キャラクターワーク・役作りについて	前回授業の復習			
4		演習	キャラクターワーク・役作りについて	前回授業の復習			
5		演習	本読み・ベア決め・リハーサル	前回授業の復習			
6		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
7		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
8		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
9		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
10		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
11		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
12		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
13		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
14		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
15		演習	アクティングエクササイズ・後期課題ヒアリング	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	進級制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	北見翔
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	GROUP THEATREに所属。銀河劇場、東京芸術劇場シアターイーストなどで主演として舞台を踏む。2019年から約2年間、英語習得と演技の可能性を広げるため留学。帰国後、成井豊演出舞台「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、内田英二監督映画「サイレントラブ」などに出演。舞台から映像まで幅広く活動し、現在に至る。						
授業の学習内容	シーンワークを中心とし、作品への取り組み方・理解を深め、自分の感性を磨く						
到達目標	脚本を理解する能力を身に着け、自分らしくアウトプット出来るようにする。						
評価方法と基準	毎回授業に参加し、各々の課題にしっかりと向き合い準備する。その姿勢と結果に基づいて評価する。出席率:70% 実技:30%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
2		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
3		演習	シーンワークリハーサル③	前回授業の復習			
4		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
5		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
6		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
7		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
8		演習	シーンワークリハーサル③	前回授業の復習			
9		演習	シーンワークリハーサル④	前回授業の復習			
10		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
11		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
12		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
13		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
14		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
15		演習	アクティングエクササイズ・課題ヒアリング	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	業界研修(1)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	岡政門
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。						
授業の学習 内容	よりよい就職に向けての準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。 又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。						
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。早期の内定獲得。						
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	業界研究・映画、放送、 広告業界の仕組み→映像業界の幅広い知識	前回授業の復習			
2		実技・実習	映画、放送、広告業界の仕組み→ 広告業界との絡み	前回授業の復習			
3		実技・実習	目指す職業の研究→ 仕事の内容	前回授業の復習			
4		実技・実習	目指す職業の研究→ 具体的な企業名	前回授業の復習			
5		実技・実習	様々な分野と職種の研究→ メディア別、ジャンル別、企業の形態別	前回授業の復習			
6		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
7		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
8		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
9		実技・実習	社会の動き、一般常識、社会人としての常識→ 社会人としての自覚	前回授業の復習			
10		実技・実習	社会の動き、一般常識、業界人としての常識 → 服装や態度新聞を読む	前回授業の復習			
11		実技・実習	業界の仕組み、業界、現場のルール	前回授業の復習			
12		実技・実習	業界の仕組み、業界、現場のルール	前回授業の復習			
13		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
14		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
15		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	業界研修(2)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	岡政門
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。						
授業の学習 内容	よりよい就職に向けての就活準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。						
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。						
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	業界研究 映画、放送、広告業界の仕組み	前回授業の復習			
2		実技・実習	業界研究 目指す職業の研究	前回授業の復習			
3		実技・実習	業界研究 様々な分野と職種の研究	前回授業の復習			
4		実技・実習	業界研究 社会の動き、一般常識	前回授業の復習			
5		実技・実習	作品集(ポートフォリオ)の更新	前回授業の復習			
6		実技・実習	作品集(ポートフォリオ)の更新	前回授業の復習			
7		実技・実習	履歴書の見直し	前回授業の復習			
8		実技・実習	履歴書の見直し	前回授業の復習			
9		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
10		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
11		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
12		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
13		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
14		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
15		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	卒業制作(1)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	和田洋
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属						
授業の学習 内容	映画制作過程を通して、その楽しさと難しさを体験する。						
到達目標	映画制作に支障のないよう各パートの準備						
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	制作工程を知る	前回授業の復習			
2		演習	演出と美術の作品への関わり方	前回授業の復習			
3		演習	撮影の作品への関わり方	前回授業の復習			
4		演習	『姉ちゃん』試写・合評 『雪の墓標』シナリオ配布	前回授業の復習			
5		演習	シナリオの読み合わせ	前回授業の復習			
6		演習	シナリオ分析・参考資料集め	前回授業の復習			
7		演習	シナリオ分析・参考資料集め	前回授業の復習			
8		演習	完成イメージの共有	前回授業の復習			
9		演習	スタッフィング	前回授業の復習			
10		演習	(制)(演)(美)役割の確認	前回授業の復習			
11		演習	(演)(美)美術作業	前回授業の復習			
12		演習	第一回美術打合せ	前回授業の復習			
13		演習	(制)予算出し(演)キャスティング 美術作業(美)セット図面作業	前回授業の復習			
14		演習	(制)ロケ場所決定(演)演出・スケジュール決め(美)セット図面完成	前回授業の復習			
15		演習	第二回美打(オールスタッフ)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	卒業制作(2)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	和田洋
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属						
授業の学習 内容	映画制作過程を通して、その楽しさと難しさを体験する。						
到達目標	映画制作に支障のないよう各パートの準備						
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	装置・装飾図準備作業	前回授業の復習			
2		演習	装置・装飾図準備作業	前回授業の復習			
3		演習	(演)(美)(技)カメラテスト	前回授業の復習			
4		演習	美打ち 全体確認	前回授業の復習			
5		演習	(技)カメラチェック	前回授業の復習			
6		演習	(技)カメラチェック	前回授業の復習			
7		演習	撮影	前回授業の復習			
8		演習	撮影	前回授業の復習			
9		演習	撮影	前回授業の復習			
10		演習	撮影	前回授業の復習			
11		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
12		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
13		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
14		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
15		演習	初号ラッシュ・振り返り	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映画制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	柴崎貴行
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	千代田工科芸術専門学校を卒業後、東映(株)の特撮番組の現場にて助監督としてTV番組製作、映画製作に従事。その後、平成仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズにて監督へ昇格。スーパー戦隊シリーズでは3作品、仮面ライダーでは2作品のパイロット(1,2話)監督を担当。2010年に初の長編映画の監督を担当。その後、同シリーズを含む長編映画の監督を計10本以上担当。現在も、仮面ライダーシリーズに監督として参加中。日本映画監督協会協会員。						
授業の学習内容	映像の現場で助監督として即戦力として働くためには、映画監督(演出家)の仕事や考え方、映画製作の流れ、監督をサポートする助監督の役割、各パートの役割や関わり方を理解することが必要です。①映画スタッフの構成と役割②③映画製作工程全般④⑤映画監督の実務⑥サード、セカンド、チーフ助監督の種類と役割⑦⑧助監督の実務⑨現場スタッフの心得⑩台本の読み方、整理方法とト書き、予定表、番盤表の見方、撮影用語⑪⑫カメラサイズとカメラワーク、カット割り、演出意図⑬イマジナリーライン⑭著作権、映像団体⑮⑯チンコの書き方、入れ方・台本を読み解く⑰⑱最新合成カットの仕組みと手法⑲⑳最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ㉑㉒大物小物表、合成素材表の書き方、消えもの、劇用金の取り扱い㉓㉔劇用原稿の書き方㉕隠しもの㉖劇用スチールの撮影方法㉗演技指導と人物配置㉘エキストラの発注方法と芝居の組み方㉙編集と仕上げ作業、音の演出、ダビング、MA㉚制作部の仕事修了時には、自分で考え判断し、各パートと連携して撮影の準備や進行が出来るようになる。						
到達目標	映画製作の過程全般、監督や各スタッフの仕事と役割を理解する。現場スタッフ(助監督)の仕事と役割を理解し、撮影準備や現場進行が出来るようにする。						
評価方法と基準	課題・レポート100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	スタッフ紹介・メインスタッフ②映画製作工程		前回授業の復習		
2		演習	スタッフ紹介・メインスタッフ②映画製作工程		前回授業の復習		
3		演習	映画製作工程④映画監督の実務		前回授業の復習		
4		演習	映画製作工程④映画監督の実務		前回授業の復習		
5		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割		前回授業の復習		
6		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割		前回授業の復習		
7		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割		前回授業の復習		
8		演習	サード助監督の実務(セカンド・チーフ)		前回授業の復習		
9		演習	サード助監督の実務(セカンド・チーフ)		前回授業の復習		
10		演習	現場スタッフの心得⑩台本の整理 予定表の見方 番盤 合成素材表		前回授業の復習		
11		演習	現場スタッフの心得⑩台本の整理 予定表の見方 番盤 合成素材表		前回授業の復習		
12		演習	カメラサイズ・カット割り・演出意図		前回授業の復習		
13		演習	カメラサイズ・カット割り・演出意図		前回授業の復習		
14		演習	イマジナリーライン 目線 ⑭著作権 映像団体		前回授業の復習		
15		演習	イマジナリーライン 目線 ⑭著作権 映像団体		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画 & 放送専門学校							

授業名	映画制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	柴崎貴行
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	90(3単位)		
教員の略歴	千代田工科芸術専門学校を卒業後、東映(株)の特撮番組の現場にて助監督としてTV番組製作、映画製作に従事。その後、平成仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズにて監督へ昇格。スーパー戦隊シリーズでは3作品、仮面ライダーでは2作品のパイロット(1,2話)監督を担当。2010年に初の長編映画の監督を担当。その後、同シリーズを含む長編映画の監督を計10本以上担当。現在も、仮面ライダーシリーズに監督として参加中。日本映画監督協会協会員。						
授業の学習内容	映像の現場で助監督として即戦力として働くためには、映画監督(演出家)の仕事や考え方、映画製作の流れ、監督をサポートする助監督の役割、各パートの役割や関わり方を理解することが必要です。①映画スタッフの構成と役割②③映画製作工程全般④⑤映画監督の実務⑥サード、セカンド、チーフ助監督の種類と役割⑦⑧助監督の実務⑨現場スタッフの心得⑩台本の読み方、整理方法と書き、予定表、番盤表の見方、撮影用語⑪⑫カメラサイズとカメラワーク、カット割り、演出意図⑬⑭マジナリーライン⑮著作権、映像団体⑯⑰最新合成カットの仕組みと手法⑱⑲最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表、合成素材表の書き方⑳㉑カチンコの書き方、入れ方㉒㉓劇用原稿の書き方・名称設定㉔㉕隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチールの撮影方法㉖㉗演技指導と人物配置・エキストラの発注方法と芝居の組み方㉘編集と仕上げ作業、音の演出、ダビング、MA㉙制作部の仕事修了時には、自分で考え判断し、各パートと連携して撮影の準備や進行が出来るようになる。						
到達目標	演出部として準備・撮影進行が出来る						
評価方法と基準	課題・レポート100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	最新合成カットの仕組みと手法		前回授業の復習		
2		演習	最新合成カットの仕組みと手法		前回授業の復習		
3		演習	最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表		前回授業の復習		
4		演習	最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表		前回授業の復習		
5		演習	カチンコの書き方、入れ方		前回授業の復習		
6		演習	カチンコの書き方、入れ方		前回授業の復習		
7		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定		前回授業の復習		
8		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定		前回授業の復習		
9		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定		前回授業の復習		
10		演習	隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチール		前回授業の復習		
11		演習	隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチール		前回授業の復習		
12		演習	演技指導・エキストラ設定		前回授業の復習		
13		演習	演技指導・エキストラ設定		前回授業の復習		
14		演習	編集・音の選出・制作部の仕事		前回授業の復習		
15		演習	編集・音の選出・制作部の仕事		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	デジタルスキル演習(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	星子駿光
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	フリーランスのVFXデザイナーを経て、2011年株式会社東京現像所へ入社。 映画・ドラマを中心にカラーリスト/DITとして活動。 2022年よりDI Factoryに所属。						
授業の学習内容	より実践的なグレーディング手法をお伝えしていきます。 実際にラボで行なっているカラーリストの育成方法や、映画で使った実践テクニクなどを、段階に分けてお伝えしていきます。						
到達目標	「カラコレ」や「カラーグレーディング」の仕組み、 グレーディングソフト「DaVinci Resolve」の基本的な使い方を学ぶ グレーディングの楽しさや基礎知識を身につける						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	カラーグレーディングやカラーリストとは？ フィルムや色作りの歴史、DaVinci Resolveについて	前回授業の復習			
2		実技・実習	カラーグレーディング入門編その① 「プライマリー」色作りの基本的な方法	前回授業の復習			
3		実技・実習	カラーグレーディング入門編その② 「カーブ」色の個性の出し方について	前回授業の復習			
4		実技・実習	カラーグレーディング入門編その③ 「セカンダリー」色のセパレート、強調の仕方	前回授業の復習			
5		実技・実習	カラーグレーディング入門編その④ 「LUT」フィルムルックの作り方	前回授業の復習			
6		実技・実習	カラーグレーディング入門編その⑤ 「FXエフェクト」画の完成度を高める方法	前回授業の復習			
7		実技・実習	カラーグレーディング入門編まとめその① 映画を想定した色作りをしてみよう	前回授業の復習			
8		実技・実習	カラーグレーディング入門編まとめその② CMを想定した色作りをしてみよう	前回授業の復習			
9		実技・実習	カラーグレーディング入門編まとめその③ ドラマを想定した色作りをしてみよう	前回授業の復習			
10		実技・実習	カラーグレーディング導入編その② 映像作品の流れを意識してグレーディングしてみよう	前回授業の復習			
11		実技・実習	カラーグレーディング導入編その③ 映像作品のテーマを意識してグレーディングしてみよう	前回授業の復習			
12		実技・実習	カラーグレーディング導入編その④ 季節や時間をグレーディングでコントロールしてみよう	前回授業の復習			
13		実技・実習	カラーグレーディング導入編その⑤ 映画映像の設計図、カラーパレット カラーパレットが作品に与える影響について	前回授業の復習			
14		実技・実習	カラーグレーディング導入編その⑥ 映画作品でのルックの作り方とアプローチ	前回授業の復習			
15		実技・実習	カラーグレーディング導入編その⑦ 映画作品でのルックの作り方とアプローチ	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	デジタルスキル演習(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	星子駿光
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	フリーランスのVFXデザイナーを経て、2011年株式会社東京現像所へ入社。 映画・ドラマを中心にカメラリスト/DITとして活動。 2022年よりDI Factoryに所属。						
授業の学習内容	「DaVinci Resolve」の基礎的な知識と、より実践的なテクニックやアプローチを学ぶ。 前期で扱った基礎操作を「復習＋実践」で自然に強化 「映画／CM／MVなどジャンル別ルック開発」に重点 「納品・ワークフロー」を入れてプロ現場を意識						
到達目標	映像作品のカラーグレーディングを行えるレベルまでの基礎スキル取得 プロ現場を意識した、より実践的なアプローチや知識を向上させる						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		実技・実習	第1回：オリエンテーション＆カラーの力 ・前期で学んだ基礎の確認(プライマリー補正、スコープ、セカンダリー補正) ・後期の最終課題(短編映像の仕上げ)について説明 ・実例上映：映画・CM・MVのカラー表現を分析		前回授業の復習		
2		実技・実習	第2回：カラーマネジメント応用 ・ACES / DaVinci YRGB Color Managed の運用 ・Log/RAW素材を複数フォーマットで扱う実習 ・課題：異なるカメラで撮影された素材を統一する		前回授業の復習		
3		実技・実習	第3回：高度なプライマリー補正 ・HDRハイールの使い方 ・Contrast PivotやCustom Curvesでのシネマティック調整 ・実習：ハイライトやシャドウを意図的に演出		前回授業の復習		
4		実技・実習	第4回：セカンダリー補正 応用 ・Power Windowの複雑なトラッキング(複数対象、マスク併用) ・Qualifier＋カーブを組み合わせた細かい色分離 ・実習：素材を「衣装の色だけ強調」		前回授業の復習		
5		実技・実習	第5回：ルック開発 ①(映画的表现) ・テール＆オレンジ、ノワール、ノスタルジックなど ・実習：配布された短編素材に映画ルックを適用 ・講評：意図に合うかどうかをディスカッション		前回授業の復習		
6		実技・実習	第6回：ルック開発 ②(CM・MV的表现) ・CMの「鮮やか・クリーン・爽やか」表現 ・MVの「スタイライズ・大胆な色」表現 ・実習：課題素材に自由にルックを開発		前回授業の復習		
7		実技・実習	第7回：肌色・美肌処理のプロレベル ・OFX(Face Refinement / Beauty)活用 ・技能：広告現場での肌色処理のコツ ・実習：広告素材の仕上げ		前回授業の復習		
8		実技・実習	第8回：シーン間マッチング実践 ・複数シーンを揃えるプロのワークフロー ・Group Pre-Clip / Post-Clip活用 ・実習：短編映像のカット全体を整える		前回授業の復習		
9		実技・実習	第9回：特殊表現と実験的グレーディング ・モノクロ＋一部カラー(シン・シティ風) ・クロスプロセス風カラー・デュオトーン・ハイキー・ローキー表現 ・実習：課題素材を実験的に加工		前回授業の復習		
10		実技・実習	第10回：仕上げと質感コントロール ・ノイズリダクション／シャープネスの最適化 ・フィルムグレインの通知 ・実習：素材を「デジタル的」or「フィルムの」に仕上げる		前回授業の復習		
11		実技・実習	第11回：納品ワークフロー ・放送／映画祭／Webの納品フォーマットの違い ・IMF、DCP、ProResの基礎知識 ・実習：同一素材を複数フォーマットで納品		前回授業の復習		
12		実技・実習	第12回：最終課題制作(ラボ形式) ・各自の作品を個別に仕上げる作業日 ・先生が巡回して技術的サポート ・学生同士のピアレビュー		前回授業の復習		
13		実技・実習	第13回：最終課題制作(ラボ形式) ・各自の作品を個別に仕上げる作業日 ・先生が巡回して技術的サポート ・学生同士のピアレビュー		前回授業の復習		
14		実技・実習	第14回：最終課題制作(ラボ形式) ・各自の作品を個別に仕上げる作業日 ・先生が巡回して技術的サポート ・学生同士のピアレビュー		前回授業の復習		
15		実技・実習	第15回：最終上映会＆講評 ・完成作品を上映・発表 ・制作意図とルック選択のプレゼン ・講評＋総まとめ(ポートフォリオ活用の提案)		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名		美術・造形演習(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	島住亮太
学科・専攻		映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴		主に映画やCM、イベントなどの特殊造形・美術制作を手掛ける							
授業の学習 内容		スチロールを使って形を彫る 石膏で雌型を作る ポリエステル樹脂とガラス繊維でFRPの成型をする 表面を仕上げる 水性塗料で着色する							
到達目標		スチロールの塊を彫って形を作ることができるようになる 型取りをしてFRP成型ができるようになる							
評価方法と基準		出席率 授業の理解度							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	表現するものを描写する			前回授業の復習			
2		演習	制作に必要な材料を準備する			前回授業の復習			
3		演習	大まかな形を作る			前回授業の復習			
4		演習	形を徐々に詰めていく			前回授業の復習			
5		演習	細部を作り込む			前回授業の復習			
6		演習	石膏型の段取りをする			前回授業の復習			
7		演習	石膏の型取りをする			前回授業の復習			
8		演習	石膏型の研磨と離型処理をする			前回授業の復習			
9		演習	FRPの成型をする			前回授業の復習			
10		演習	全体の形を仕上げる			前回授業の復習			
11		演習	塗装前の下地を仕上げる			前回授業の復習			
12		演習	下地の色を塗装する			前回授業の復習			
13		演習	下地の色を塗装する			前回授業の復習			
14		演習	細部の色を塗装する			前回授業の復習			
15		演習	細部の色を塗装する			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	美術・造形演習(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	島住亮太
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	主に映画やCM、イベントなどの特殊造形・美術制作を手掛ける						
授業の学習内容	造形制作では、1年生は観察力・描写力が重要。 身の回りにあるもの、自然の中にある物を中心に、油土、発泡スチロールなどを使用し、造形制作を行う。 映画・舞台・テーマパーク建築装飾など、様々な分野に造形が使用されている。 自然物の観察からはじまり、形に再現していく。 多種多様な素材を使用して、自然物の造形を制作する。						
到達目標	各自のデザインに基づき、原型制作を行い、FRP造形を成形できるようになる。						
評価方法と基準	・制作後に最終的に造形作品となったものを講評、評価する。 ・制作の準備、後片付け、制作態度も評価する。□						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	【擬岩造形物1】各自の造形物のデザインを考えることができる。	前回授業の復習			
2		演習	【擬岩造形物2】デザイン画、設計図から発泡スチロールを切り出すことができる。	前回授業の復習			
3		演習	【擬岩造形物3】荒削りで大きな形を作ることができる。	前回授業の復習			
4		演習	【擬岩造形物4】細部を作り込み、原型を完成させることができる。	前回授業の復習			
5		演習	【擬岩造形物5】石膏による雌型制作。切金を入れることができる。	前回授業の復習			
6		演習	【擬岩造形物6】石膏による雌型制作。切金を入れることができる。	前回授業の復習			
7		演習	【擬岩造形物7】石膏型の中身を抜き出し、雌型制作ができる。	前回授業の復習			
8		演習	【擬岩造形物8】FRPを雌型に貼っていくことができる。	前回授業の復習			
9		演習	【擬岩造形物9】FRPを雌型に貼って、石膏型を合わせることができる。	前回授業の復習			
10		演習	【擬岩造形物10】FRPを雌型に貼って、石膏型を合わせることができる。	前回授業の復習			
11		演習	【擬岩造形物11】雌型から脱型ができる。	前回授業の復習			
12		演習	【擬岩造形物12】樹脂パテを使用し、大きな修正ができる。	前回授業の復習			
13		演習	【擬岩造形13】ポリパテを使用し、仕上げることができる。	前回授業の復習			
14		演習	【擬岩造形14】サフェーサー仕上げができる。	前回授業の復習			
15		演習	【擬岩造形15】サフェーサー仕上げができる。	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	照明・録音(1)	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	河本隆一
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	株式会社LuckyLightingに入社。 1年半在籍し退社。その後フリーランスで活動しロサンゼルスに渡米。1年間の語学勉強しながら現地の撮影に参加し日本と海外の撮影方法の違いを学ぶ。帰国後照明チーフを経験し2021年11月から照明技師として独立。在籍していた株式会社LuckyLightingからオファーをもらい2023年11月から社員として照明・合成幕として活動中。						
授業の学習内容	・実際にライティングしてみる事の楽しさを感じてもらう。 ・実際に学生がライティングしてみても映像に照明がどのくらいの影響を与えているかを学習する。						
到達目標	宣材写真・アーティスト写真を撮影してみる。						
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	実際に物を使ってライティング。飲み物	前回授業の復習			
2		演習	実際に物を使ってライティング。飲み物	前回授業の復習			
3		演習	実際に物を使ってライティング。飲み物	前回授業の復習			
4		演習	実際に物を使ってライティング。携帯	前回授業の復習			
5		演習	実際に物を使ってライティング。携帯	前回授業の復習			
6		演習	実際に物を使ってカラーライティング。化粧品	前回授業の復習			
7		演習	実際に物を使ってカラーライティング。化粧品	前回授業の復習			
8		演習	人物ライティング	前回授業の復習			
9		演習	人物ライティング	前回授業の復習			
10		演習	人物カラーライティング	前回授業の復習			
11		演習	人物カラーライティング	前回授業の復習			
12		演習	アーティスト写真撮影	前回授業の復習			
13		演習	アーティスト写真撮影	前回授業の復習			
14		演習	アーティスト写真撮影	前回授業の復習			
15		演習	アーティスト写真撮影	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	照明・録音(2)		必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	河本隆一
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	株式会社LuckyLightingに入社。1年半在籍し退社。その後フリーランスで活動しロサンゼルスに渡米。1年間の語学勉強しながら現地の撮影に参加し日本と海外の撮影方法の違いを学ぶ。帰国後照明チーフを経験し2021年11月から照明技師として独立。在籍していた株式会社LuckyLightingからオファーをもらい2023年11月から社員として照明・合成幕として活動中。							
授業の学習内容	・実際にライティングしてみる事の楽しさを感じてもらう。 ・実際に学生がライティングしてみて映像に照明がどのくらいの影響を与えているかを学習する。							
到達目標	宣材写真・アーティスト写真を撮影してみる。							
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	アーティスト写真撮影		前回授業の復習			
2		演習	アーティスト写真撮影		前回授業の復習			
3		演習	カメラを意識したライティング。		前回授業の復習			
4		演習	カメラを意識したライティング。		前回授業の復習			
5		演習	動く物のライティング。		前回授業の復習			
6		演習	動く物のライティング。		前回授業の復習			
7		演習	動く物のライティング。		前回授業の復習			
8		演習	動く物のライティング。		前回授業の復習			
9		演習	MV撮影準備。		前回授業の復習			
10		演習	MV撮影準備。		前回授業の復習			
11		演習	MV撮影準備。		前回授業の復習			
12		演習	MV撮影		前回授業の復習			
13		演習	MV撮影		前回授業の復習			
14		演習	MV撮影		前回授業の復習			
15		演習	振り返り、反省会		前回授業の復習			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	演出2(1)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	霞 翔太
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	専門は映画、実写作品。小学生の総合学習授業の講師を担当。1年間小学生に授業を行い、制作した『地球は元気ですか？』(映画劇)監修。監督作に『離れても離れてもまだ眠ることを知らない』(バンコク・日泰修好130周年記念作品)、『フィルムに宿る魂』(長野県千曲市)、『新しい生活様式』(都アートプロジェクト)『貴方を忘れずに居られる神社』(熊本県山鹿市)、『誰も言わない』(群馬県桐生市)(終戦75周年記念)、『深婚式』(東京都八王子市)、『後ろ向きで歩く』(群馬県前橋市)						
授業の学習内容	本講義では、映画や映像作品における演出の役割と技法を学ぶ。演出技法を「ショット(撮影)」「身体と動き」「演技と演出」の3つの主要分野に分け、講義形式と実践形式を交えながら進める。 講義形式では、演出の基本概念について理論を用いて学ぶとともに、実際に作品のシーンを視聴し、どのような意図と演出が働いているかディスカッションを通して分析を行う。 実践形式ではグループごとに与えられた脚本、キャスト、時間の中で撮影、演出、編集を行い、演出の効果について研究する。						
到達目標	○映画・映像演出の基本概念を理解し、意図的な演出ができるようになる ○既成の映像作品から演出意図を考えることができるようになる						
評価方法と基準	○作品へ向き合う姿勢 ○授業への聴講意欲 ○自分の意見を発言する参加意欲						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	【講義】演出とは何か？ －演出の定義と基本的役割とは何か	前回授業の復習			
2		実技・実習	【講義】演出とは何か？ －「演出は映らない」という考え方への対策	前回授業の復習			
3		実技・実習	【講義と実践】ショットの基本理論と実践 －演出について前回の振り返り －ショットとは	前回授業の復習			
4		実技・実習	【講義と実践】ショットの基本理論と実践 －「目で写し、瞬きをする」の考え方 －選別した映画のワンシーンから紐解く...etc －見せるもの・見せないもののコントロール(視点)	前回授業の復習			
5		実技・実習	【講義】身体と動きの基本理論 －ショットについて前回の振り返り	前回授業の復習			
6		実技・実習	第3回：【講義】身体と動きの基本理論 －俳優の動きとフレーム内のバランス	前回授業の復習			
7		実技・実習	第3回：【講義】身体と動きの基本理論 －映像におけるボディランゲージの活用 －「静」と「動」を意識した演出	前回授業の復習			
8		実技・実習	第4回：【実践】身体と動きの実践 －人体の動きは何を彷彿とさせるか	前回授業の復習			
9		実技・実習	第4回：【実践】身体と動きの実践 －映像における行動の原理とは	前回授業の復習			
10		実技・実習	【実践】身体と動きの実践 －常に変わり続ける身体の反応	前回授業の復習			
11		実技・実習	【実践】身体と動きの実践 －動きには全て理由がある	前回授業の復習			
12		実技・実習	【実践】演技と演出の実践 －演技と演出について前回の振り返り －ショットを意識した短編シーンの演出	前回授業の復習			
13		実技・実習	【実践】演技と演出の実践 －俳優の動きとカメラワークの調整 －演出の意図を伝える一視点	前回授業の復習			
14		実技・実習	【講義】総括と演出の視点 －これまでの学びの振り返り －意見交換	前回授業の復習			
15		実技・実習	【講義】総括と演出の視点 －これまでの学びの振り返り －意見交換	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	演出2(2)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	霞 翔太
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間(単位)	120(4単位)		
教員の略歴	専門は映画、実写作品。小学生の総合学習授業の講師を担当。1年間小学生に授業を行い、制作した『地球は元気ですか?』『映画劇』監修。監督作に『離れても離れてもまだ眠ることを知らない』『ランコウ・日泰修好100周年記念作品』『フィルムに宿る魂』『長野県千曲市』『新しい生活様式』『都アートプロジェクト』『貴方を忘れずに居られる神社』『熊本県山鹿市』『誰も言わない』『群馬県桐生市』『終戦75周年記念』『深埒式』『東京都八王子市』『後ろ向きで歩く』『群馬県前橋市』						
授業の学習内容	本講義では、映画や映像作品における演出の役割と技法を学ぶ。演出技法を「ショット(撮影)」「身体と動き」「演技と演出」の3つの主要分野に分け、講義形式と実践形式を交えながら進める。 講義形式では、演出の基本概念について理論を用いて学ぶとともに、実際に作品のシーンを視聴し、どのような意図と演出が働いているかをディスカッションを通して分析を行う。実践形式ではグループごとに与えられた脚本、キャスト、時間の中で演技、演出、編集を行い、演出の効果について研究する。						
到達目標	○映画・映像演出の基本概念を理解し、意図的な演出ができるようになる ○既成の映像作品から演出意図を考えることができるようになる						
評価方法と基準	○作品へ向き合う姿勢 ○授業への聴講意欲 ○自分の意見を発言する参加意欲						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		実技・実習	【講義】演出とは何か? - 演出の定義と基本の役割 - 「演出は身近である」という視点		前回授業の復習		
2		実技・実習	【講義と実践】ショットの基本理論と実践 - 演出について前回の振り返り - ショットとは - 「目で写し、観客をする」の考え方 - 選別した映画のワンシーンから紐解く...etc - 見せるもの・見せないもののコントロール(視点)		前回授業の復習		
3		実技・実習	【講義】身体と動きの基本理論 - ショットについて前回の振り返り - 俳優の動きとフレーム内のバランス - 映像におけるボディスランジェンの活用 - 「静」と「動」を意識した演出		前回授業の復習		
4		実技・実習	【講義】演技と演出の基本理論 - 身体と動きについて前回の振り返り - 俳優の演技と紡ぎ出すディレクション法		前回授業の復習		
5		実技・実習	【講義】演技と演出の基本理論 - 俳優とのコミュニケーション方法 - 真実味のある演技とは		前回授業の復習		
6		実技・実習	【実践】演技と演出の実践 - 演技と演出について前回の振り返り - ショットを意識した短編シーンの演出		前回授業の復習		
7		実技・実習	【実践】演技と演出の実践 - 俳優の動きとカメラワークの調整		前回授業の復習		
8		実技・実習	【実践】演技と演出の実践 - 演出の意図を伝える一視点		前回授業の復習		
9		実技・実習	【実践】演出の実践(グループ制作) - チームごとに与えられた脚本、キャスト、時間の中で演出を試みる。		前回授業の復習		
10		実技・実習	【実践】演出の実践(グループ制作) - 実録で得たフィードバックをもとに改善		前回授業の復習		
11		実技・実習	【実践】演出の実践(グループ制作) - 監督としての視点を持つ		前回授業の復習		
12		実技・実習	【講義】上映と講評 - 作品の上映と講評 - 演出の効果と課題の振り返り		前回授業の復習		
13		実技・実習	【講義】上映と講評 - 作品の上映と講評 - 演出の効果と課題の振り返り		前回授業の復習		
14		実技・実習	【講義】総括と演出の視点 - 「自分なりの演出観」を言語化 - ディスカッション		前回授業の復習		
15		実技・実習	【講義】総括と演出の視点 - これまでの学びの振り返り - ディスカッション - 修了メッセージ		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	CG制作2(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	馬渡貴志
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	120(4単位)		
教員の略歴	アニメーション/CG/VFXスーパーバイザー。 (株)白組を経て独立。代表作に「ジュブナイル」「リターナー」「カムイの剣」「幻魔大戦」「ダロス」「巨神ゴース」他多数。 (一社)日本映画テレビ技術協会アニメーション部会長。							
授業の学習内容	3DCGアニメーション作品の制作が出来るように、アニメーションを重点的に学ぶとともに、アニメーション可能なシーンのモデリングも行なう。3DCGソフトウェアで制作できるエフェクトを作成し、3DCGアニメーション作品上で使用できるようにする。適宜、課題を出題するので、課題を制作する。課題の評価は成績に反映させる。 また、将来のCG会社やポストプロダクション等への就職対策として、CGⅡⅢの授業においては、AUTODESK MAYAは英語版を使用する。またArnoldRendererの基本的な使用を学ぶ。 なお、3年生はすでに1年間この授業を履修済みなので、授業時間には、2年生の時の復習と共に、就職活動で利用できる3DCGアニメーション作品を設計デザインし、3DCGアニメーション作品の制作を重点的に行なう。その際の質問等は歓迎する。							
到達目標	AUTODESK MAYAのアニメーション技法を一通り学び、マスターする。 CGクリエイター検定ベーシックを受験し合格を目指す。 3年生は就職活動のポートフォリオとして使える3DCGアニメーション動画作品を自分で企画し制作する。							
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	ガイダンス、キーフレームアニメーション		前回授業の復習			
2		演習	キーフレームアニメーション		前回授業の復習			
3		演習	キーフレームアニメーション		前回授業の復習			
4		演習	キーフレームアニメーション、レンダリング		前回授業の復習			
5		演習	キーフレームアニメーション、レンダリング		前回授業の復習			
6		演習	キーフレームアニメーション、レンダリング		前回授業の復習			
7		演習	デフォーマ		前回授業の復習			
8		演習	デフォーマ		前回授業の復習			
9		演習	コンストレイント		前回授業の復習			
10		演習	コンストレイント		前回授業の復習			
11		演習	コンストレイント		前回授業の復習			
12		演習	スケルトン		前回授業の復習			
13		演習	スケルトン、レンダリング		前回授業の復習			
14		演習	スケルトン、レンダリング		前回授業の復習			
15		演習	スケルトン、レンダリング		前回授業の復習			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	CG制作2(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	馬渡貴志
学科・専攻	映画制作科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	120(4単位)		
教員の略歴	アニメーション/CG/VFXスーパーバイザー。 (株)白組を経て独立。代表作に「ジュブナイル」「リターナー」「カムイの剣」「幻魔大戦」「ダロス」「巨神ゴース」他多数。 (一社)日本映画テレビ技術協会アニメーション部会長。							
授業の学習内容	3DCGアニメーション作品の制作が出来るように、アニメーションを重点的に学ぶとともに、アニメーション可能なシーンのモデリングも行なう。3DCGソフトウェアで制作できるエフェクトを作成し、3DCGアニメーション作品上で使用できるようにする。適宜、課題を出題するので、課題の制作する。課題の評価は成績に反映させる。 また、将来のCG会社やポストプロダクション等への就職対策として、CGⅡⅢの授業においては、AUTODESK MAYAは英語版を使用する。またArnoldRendererの基本的な使用を学ぶ。 なお、3年生はすでに1年間この授業を履修済みなので、授業時間には、2年生の時の復習と共に、就職活動で使用できる3DCGアニメーション作品を設計デザインし、3DCGアニメーション作品の制作を重点的に行なう。その際の質問等は歓迎する。							
到達目標	キャラクターモデリングを行い、スケルトンでアニメーションを制作する。就職時に備え、3DCGソフトウェアで制作できるエフェクトを作成し、3DCGアニメーション作品上で使用できるようにする。 また現在の映像技術、3DCG技術の最新トレンドを理解する。CGクリエイター検定ベーシックを受験し合格を目指す。							
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
2		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
3		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
4		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
5		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
6		演習	スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
7		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
8		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
9		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
10		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
11		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
12		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
13		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
14		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
15		演習	人体型スケルトンアニメーションの実際を学ぶ		前回授業の復習			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								